

平成 25 年流山市教育委員会第 12 回定例会会議録

- 1 日 時 平成 25 年 12 月 26 日（木曜日）
開会 午前 10 時 00 分
閉会 午前 11 時 20 分
- 2 場 所 流山市生涯学習センターC207 会議室
- 3 出席委員 委 員 長 奈良 文雄
委員長職務代理者 小林 晃一
委 員 若松 文^{あや}
委 員 井上 菊夫
教 育 長 後田 博美
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 学校教育部長 亀田 孝
生涯学習部長 直井 英樹
学校教育部次長兼学校教育課長 鈴木 克巳
生涯学習部次長兼生涯学習課長 戸部 孝彰
教育総務課長 武田 淳
指導課長 大重 基樹
公民館長 渋谷 俊之
図書・博物館長 小川 昇
- 7 事務局職員 教育総務課長補佐 平川 誠治
教育総務課庶務係長 大作 正巳
教育総務課庶務係主査 新倉 英之
- 8 議案等
協議 オ 教育財産の目的外使用について
協議 カ 教育財産の目的外使用について

9 議事の内容

(開会 午前 10 時 00 分)

奈良委員長

ただいまから、平成 25 年流山市教育委員会議第 12 回定例会を開会します。
まず、平成 25 年流山市教育委員会議第 11 回定例会の会議録をお配りしておりますが、御意見、御指摘がございますか。

(特になし との声あり)

奈良委員長

特にないようですので、承認することにいたします。
次に、教育長報告をお願いします。

教育長

それでは、11 月の教育委員会議以降について、報告させていただきます。
はじめに幼児教育支援センター附属幼稚園、保育所、私立保育園等で発生しましたノロウイルスは、小学校でも数校見られましたが、現在は沈静化の方向に向かっています。インフルエンザ対策と同様、今後も手洗いうがいを励行させたいと思います。

次に、11 月 30 日に南流山センターで、第 8 回音読朗読発表会が開催されました。グループの参加で、市内小中学校の参加も 1 校ずつ増えました。元気な音読は、継続されている力だと思いました。保護者の方々の参観も非常に多いように感じました。

次に、11 月 30 日、12 月 1 日に、「スマイルとうほくプロジェクト」で、東部中学校 3 年の生徒が、千葉県代表として被災地の宮城県宮古市を訪れ、被災地の現状を全国に紙面情報として発信する役割を果たしました。

次に、11 月 28 日に流山市議会第 4 回定例会が開会し、12 月 18 日に閉会しました。一般質問の主なものを申し上げます。

- ・生活保護世帯の子どもは「不登校が多い」というが、本市の実態はどうか。
- ・平成 26 年度予算編成で、教育の充実に向けての予算確保をどのようにしていくかという中で、幼児教育支援センター附属幼稚園の発達障害の傾向のある園児の入園について
- ・博物館及び図書館のバリアフリーについて
これは、エレベーターを設置してほしいというものです。
- ・検討中の教育コーチングとユネスコスクールの検討結果について
- ・彫刻刀や習字道具等の学用品が、キャラクター入りで高額な物が多い。教育的配慮はどうか。

- ・中央図書館が耐震補強工事により休館中である、図書の貸出しを市役所でできないか。
 - ・「貧困の連鎖」を克服する学習支援事業を流山市でも実施すべきではないか。
 - ・要保護世帯に、クラブ活動費、生徒会費、PTA 会費が支給されている。準要保護世帯にも支給すべきではないか。
 - ・教育委員会制度改革案について教育長の見解を問う。
 - ・文科省は 31 学級以上を大規模校としているが、併設校の学校運営や教育効果等の課題解決への取組について
 - ・小中併設校開校時に併設校学区へ編入される新中 3 及び新小 6 について、希望を踏まえた柔軟な対応について
 - ・小中学校における部活動の数の格差是正策の検討状況について
 - ・小中併設校の部活動（文科系も含む）で、どのようなものを想定しているか。
 - ・ランバーコア卓球台発明の地元企業と健康の観点から卓球を推進していくべきではないか。
 - ・卓球の県大会や大きな大会、東京オリンピック・パラリンピック開催に備え、外国チームの練習場の招致推進をしていくべきではないか。
 - ・現在の和式トイレの状況と今後の改修計画について、和式トイレを速やかに洋式トイレへ改修すべきと思うがどうか。
- などの質問がありました。

次に、12月7日に、青少年ふれあい運動地区のつどいが青少年健全育成と家庭や地域の教育力の向上を目的として開催されました。今年は7会場で各地区の課題に応じた発表や講演がありました。例年よりも参加者が多く、おおたかの森高等学校では会場に入りきれないくらいの参加者があり、関心の高さが窺えました。

次に、12月8日に2014年の成人式実行委員が来庁し、今回の成人式のテーマは「道」との報告がありました。今年は市内で1,407名が新成人になります。

次に、12月11日に、山形県朝日町と八木南小学校全校児童、東深井小4年生が第8回のりんご交流会を開催しました。当日は、町長をはじめ、生産者の方々7名がお出でになり、りんごがなるまでのDVDの視聴やクイズなどをして交流を図りました。次年度も学校を代えて実施したいとの申し出がありました。

私からは以上です。

ただいまの報告について、御意見等ございますか。

奈良委員長

(特になし との声あり)

奈良委員長

それでは以上で教育長報告を終了します。

これより、議事に入ります。

まず、協議オ「教育財産の目的外使用について」を議題とします。協議理由の説明を求めます。

教育総務課長

(流山市長から、冬休み期間中の江戸川台学童クラブの保育場所として幼児教育支援センター附属幼稚園の遊戯室を一時使用したい旨の要望があったため、これを許可する旨を説明。本件は、夏休み期間中と同様の措置である。)

奈良委員長

本件について質疑等ありましたらお願いします。

小林職務代理者

こういった協議については、定例会議に諮らずに稟議制にするなどの方法は考えられませんか。

教育長

現行の制度では、教育委員会議で審議をする必要があります、持ち回りの扱いもできません。しかし、今後、教育委員会制度の法改正も予定されております。教育委員会議で何を議論し、協議をし、結論を出さなければならないか。今後は、より本質的な議論をしていくように、制度も変わっていきますし、また変えていかなければならないと思います。もう少し研究させていただきたいと思います。

奈良委員長

ほかに、御意見はありませんか。

(異議なし との声あり)

奈良委員長

次に、協議カ「教育財産の目的外使用について」を議題とします。協議理由の説明を求めます。

教育総務課長

(流山市長から、鰯ヶ崎小学校の校舎の一部(2階生活科室)を防災備蓄倉庫として使用したい旨の要望があったため、これを許可する旨を説明)

奈良委員長	本件について、質疑等ありましたらお願いします。
小林職務代理者	災害が発生した時に、地域の自治会や自主防災組織が防災備蓄倉庫の物資を使うわけですね。その際に、鍵は学校が管理していて、付近の住民は鍵を持っていない。ならば、鍵を預けておけばよいのかということ、それもまた預かった側も責任を持ってない。そういった時にどうするかということ、施設管理者として考えておく必要があるのではないのでしょうか。
教育総務課長	市の市民生活部防災危機管理課に各小中学校の鍵があります。災害発生時には、災害対策本部の救援部の職員が市内各地区に分かれて、避難所の開設を行います。そして、避難してきた人々に対してどんな物資を供給していくかについても、流山市地域防災計画の中で役割分担をしています。
小林職務代理者	災害が発生すると、市の職員も集まれないかもしれません。流山市では、自主防災組織を作ることを自治会に奨励しています。自主防災組織の責任者は、その住民を助けるために緊急の行動をしなければならない。近くの学校の防災備蓄倉庫に食糧や簡易トイレや毛布があって、それらが必要になった時に、鍵を持っている人が来てくれないことも十分に考えられます。今は、災害が発生すると3日間は救助が来ないという前提で防災訓練をするように言われています。だからこそ、地域の学校を利用した防災備蓄倉庫が設置されてきているわけです。それなのに、その鍵が開けられないのでは学校に設置する意味がありません。それならば、どこか別の場所に倉庫を造っておけばいいことになります。
教育総務課長	まず避難することが優先で、その次にそこで生活していくための物資の供給をしていくことになります。鍵については、自治会にスペアキーを預かってもらうという考え方もありますが、それぞれの自治会の考えもありますので、まだ市としての方向性は決まっています。
井上委員	学校には鍵があるわけですから、自治会長などが学校のどこにあるかを知っていればよいのではないですか。災害時に体育館などに一般の人が避難してきて、毛布などの物資が必要になった時に、倉庫の鍵をどうするかということですね。

小林職務代理者	<p>避難場所としての学校と防災備蓄倉庫としての機能は別なのです。流山市内の防災組織がどうなっているかという、各自治会で防災器具を用意することになっています。阪神・淡路大震災の時に、まず何が大事だったかという、障害物を壊すためのハンマーや簡易トイレなどが必要だったというノウハウの蓄積があって、そういった物をどこに置いたらいいのかということ考えた結果、地域の小学校の空き教室を利用して、そういう緊急物資を置いておこうという発想になったのです。そうすると、学校に置いてある簡易トイレなどは緊急に必要になります。ですから、誰が倉庫の鍵を開けるのかが大事なのです。自治会の役員はしばしば交代してしまうので、やはり、管理している学校側が緊急対応できることを念頭に置いた施設管理をするべきだと思います。小学校というのは単なる教育の場だけではなくて、その地域の安全のためのセンターとしての機能を持っているわけですから、管理する側としては、それに対する心構えを持っていなければならないと思います。</p>
井上委員	<p>今回の鰯ヶ崎小学校では、生活科室を防災備蓄倉庫として使用するということですが、この教室は現在全く使われていないということですか。これによって、小学校の教育の妨げにはならないわけですね。</p>
教育総務課長	<p>市の防災危機管理課と学校長が協議をした上で、教育活動を妨げない範囲内で許可をしています。</p>
教育長	<p>鰯ヶ崎小学校は、今後、児童数が増加することが想定されていますが、それも踏まえて、協議しています。もちろん、学校は避難場所としての役割も持っていますから、教育に支障をきたさないという前提で目的外使用を認めています。</p>
井上委員	<p>防災備蓄倉庫が重要であることはよく理解しています。ただ、それによって教育活動がマイナスになってしまえば本末転倒なので、そうならないことが確認できればいいと思います。</p>
小林職務代理者	<p>阪神・淡路大震災や東日本大震災などを経て、地域の防災のあり方が議論されています。その中で、一定の地域ごとに防災機能のあるセンターを持たなければならないという発想になって、一番活用できるのは小学校ではないかというところに行き着いているわけです。学校の建物はそういう機能を必然的に持</p>

っているということを学校教育関係者として認識しておくべきだと思います。小学校とは別に防災センターを作っておくべきだということにすればいいのですが、今のところはそういう考え方はなくて、小学校区が防災組織の最小の単位になっていて、その中心に小学校の建物が使われていることを理解しておかなければなりません。

教育長

学校の防災備蓄倉庫は、教室だけではなくて、敷地内にプレハブを造っているところもあります。小林委員の御意見の内容は認識していますし、また、井上委員の御心配もよくわかります。ですから、一度にまとめて設置するのではなく、状況をよく見ながら少しずつ防災備蓄倉庫を設置しているものです。

奈良委員長

この許可については、1年間ごとに支障がなければ更新をしていくということです。今後もこのような目的外使用による防災備蓄倉庫は増えていくと思いますが、鍵の問題など連絡を密にさせていただきたいと思います。

それでは、協議力については了承することに御異議ありませんか。

(異議なし との声あり)

奈良委員長

御異議なしと認めます。よって、協議力は了承することに決しました。次に、各課等報告を学校教育課からお願いします。

学校教育課長

ノロウイルスの件ですが、今年は罹患率が高い状況で、幼児教育支援センター附属幼稚園でも11月27日に4歳児10名が罹患したということで、保健所に報告する中で同月28日、29日に学級閉鎖をしました。12月12日に5歳児に6名の罹患者があつて、この日は早退の措置をとりました。また、私立幼稚園では平和台幼稚園が12月9日に園全体を閉鎖しましたが、現在は収まっている状況です。

奈良委員長

本件について、御意見はありますか。

若松委員

中学生の職業体験で幼稚園、保育所、介護施設等に子どもたちが実習に行く時に感染したり、又は感染者になってしまうこともあり得ると思います。また、小中幼の交流もしているので、そういった二次感染についても配慮していただきたいと思います。

学校教育部長	感染に関する情報については、部分的に集約したのもも学校に FAX で配信しています。また、緊急を要するものについては、校長、教頭に直ちに伝わるメールシステムもありますので、これも活用して対応していきたいと思いません。
学校教育課長	附属幼稚園の園児が江戸川台小学校で歌の発表をすることが予定されていましたが、感染防止の観点から取りやめました。
奈良委員長	次に、生涯学習部からお願いします。
生涯学習課長	平成 25 年度流山市青少年社会環境浄化事業青少年ふれあい運動地区のつどいについて、12 月 7 日に小学校 3 校、中学校 2 校、高校 1 校で集会活動を行いました。これは青少年ふれあい運動の中の集会活動で、毎年実施しています。地区ごとに講演会やグループワークを行いました。学校及び PTA の力強い連携があり、延べ 908 名の参加がありました。
公民館長	公民館事業の「銀河鉄道～小池博史ブリッジプロジェクト～」については、宮沢賢治作品の中から「銀河鉄道の夜」をモチーフにした舞台作品です。東日本大震災の記憶を風化させないということで、公民館と文化のまちづくり実行委員会の共催で行うもので、原資は財団法人地域創造からの助成金を得て実施するものです。
図書・博物館長	図書・博物館事業の一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の元日特別開館は、「流山七福神めぐり切り絵展」、「新春を彩る絵画の饗演～黎明ゆかりの作家展」の 2 つの企画展を開催し、元日からお楽しみいただこうとするものです。
奈良委員長	生涯学習部の報告について、御意見等ございますか。
小林職務代理者	一茶双樹記念館と杜のアトリエ黎明の元日開館は、毎年行っているのですか。
生涯学習部長	近くに赤城神社がありまして、初詣客で賑わっているものですから、ここ数年開館しているもので、盛況です。

奈良委員長

ほかに御意見はありませんか。

(特になし との声あり)

奈良委員長

それでは以上で各課等報告を終了します。

以上をもって本日の教育委員会議に付議された案件の審議は、終了いたしました。その他、協議する事項がありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

奈良委員長

それでは次回の教育委員会議について、事務局からお願いします。

教育総務課長

次回の教育委員会議は、1月23日(木曜日)八木中学校で、午前10時から開催したいと思います。いかがでしょうか。

(次回の日程協議)

奈良委員長

それでは、次回の教育委員会議は、1月23日(木曜日)八木中学校で、午前10時から開催することとします。以上で、平成25年流山市教育委員会議第12回定例会を終了します。

(閉会 午前11時20分)